

— 脱炭素先行地域「グリーン共創モデル」 —

「さいたま市脱炭素型先進街区創出プロジェクト」の発足について

さいたま市と東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社は「脱炭素先行地域」に共同提案、選定をされており、先行地域の脱炭素化に向けて取り組んでおります。

この度、さいたま市の脱炭素先行地域※で掲げる「さいたま発の公民学によるグリーン共創モデル」の実現に向けた取組の一つとして、「さいたま市脱炭素型先進街区創出プロジェクトチーム」を設立しました。

今後、この取組・活動を通じて、さいたま市のゼロカーボンシティ（2050年温室効果ガス排出実質ゼロ）及び我が国全体の脱炭素社会の実現を目指していきます。

※さいたま市は、2030年までに目指す地域脱炭素の姿として、「さいたま発の公民学によるグリーン共創モデル」をコンセプトに、全国の自治体で実現可能な汎用性の高い「地域循環共生型の都市エネルギーモデル」と公・民・学それぞれが主体となって取り組む「先進かつサステナブルなグリーン成長モデル」の創出を掲げています。

1 発足式

令和5年1月30日（月曜日）

2 発足趣意書

「さいたま市脱炭素型先進街区創出プロジェクト」発足趣意書（文書末尾に添付）

3 プロジェクトチームメンバー

株式会社カネカ（設立代表発起人）

株式会社高砂建設（設立発起人）

東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社

東京電力エナジーパートナー株式会社販売本部北関東本部

さいたま市

4 発足式の様子



▲プロジェクト発足式の様子（左から）

東京電力エナジーパートナー株式会社販売本部北関東本部	本部長	和仁 貴彦 様
東京電力パワーグリッド株式会社 埼玉総支社	総支社長	河野 誠
さいたま市	市長	清水 勇人 様
株式会社カネカ	代表取締役会長	菅原 公一 様
株式会社高砂建設	代表取締役社長	風間 健 様

— 脱炭素先行地域「グリーン共創モデル」 —
「さいたま市脱炭素型先進街区創出プロジェクト」発足趣意書

さいたま市は、全国の自治体を対象に募集していた「脱炭素先行地域」に共同提案し、全国で26か所となる「脱炭素先行地域」の一つとして、初めて選定されました。

今回の提案は、2030年までに目指す地域脱炭素の姿として、「さいたま発の公民学によるグリーン共創モデル」をコンセプトに、全国の自治体で実現可能な汎用性の高い「地域循環共生型の都市エネルギーモデル」と公・民・学それぞれが主体となって取り組む「先進かつサステナブルなグリーン成長モデル」の創出を掲げています。

我々は、この「グリーン共創モデル」の取組の一つである、脱炭素型の先進街区創出に向けて、行政との連携のもと、企業の知識やノウハウ、先端技術等の強みを最大限生かし、新たな価値を創出するため、共に考え、共に創る共創を図る場として、「さいたま市脱炭素型先進街区創出プロジェクトチーム」を設立します。

今後、この取組・活動を通じて、さいたま市のゼロカーボンシティ（2050年温室効果ガス排出実質ゼロ）及び我が国全体の脱炭素社会の実現を目指していきます。

令和5年1月30日

さいたま市脱炭素型先進街区創出プロジェクトチーム

株式会社カネカ
（設立代表発起人）

代表取締役会長

菅原 公一

株式会社高砂建設
（設立発起人）

代表取締役社長

風間 健

東京電力パワーグリッド株式会社
埼玉総支社

総支社長

河野 誠

東京電力エナジーパートナー株式会社
販売本部北関東本部

本部長

和 仁 貴彦

さいたま市

市長

清水 邦人